1.メンテナンス時の作業手順及び注意事項

残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キャップセットの洗浄を行う、塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けて行う

(注意)

洗浄不良はパタン形状や粒子の不具合の原因となる。 特に二液塗料を御使用後は素早く入念に洗浄する。

各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行いウエス等でふき取る。

(注意)

スプレーガン全体をシンナー等の液中に浸さない。 長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となる。 なお、洗浄時には空気キャップセット、塗料ノズルの各噴出穴及びニードル弁セッ Hは絶対にキズを付けないようにする。

分解する前には塗料通路内部を十分洗浄する。 塗料ノズル分解時工具はメガネレンチ、ボックスレンチ又は別売りの専用スパナ (コー FNo.03538600)を使用する。

注意)

塗料ノズルを外す時は、シート部保護のため引金を引き、ニードル弁セットを引いた状態で行う。

ニードル弁パッキンセットを調節する時は、ニードル弁セットを挿入したままで一旦締め 込む。手締めで止まった所からスパナにて再度締め込む。

(注意)

ニードル弁パッキンセットは締め過ぎるとニードル弁セットの動きが悪くなり塗料先端漏れの原因となる。

締め増し、締め戻し可能なパッキンであるため、引金を引き、ニードル弁セットの動きを確認しながら調節をする。

パタン調節装置及び空気量調節装置の組立はおのおのの調節装置を全開にしてから本体セットにねじ込む。

(注意) 全開でないと パタン調節装置及び空気量調節装置の先端が本体セット先にぶつかり、損傷の原因となる。

2. 点検箇所及び部品交換基準

スプレーガンは下記内容の部品が不良を起こした際、交換が必要となる。 吹き付け時にパターン不良、塗料洩れ、エアー洩れ等が発生した場合は日々の洗浄 とは別に、部品交換を行う

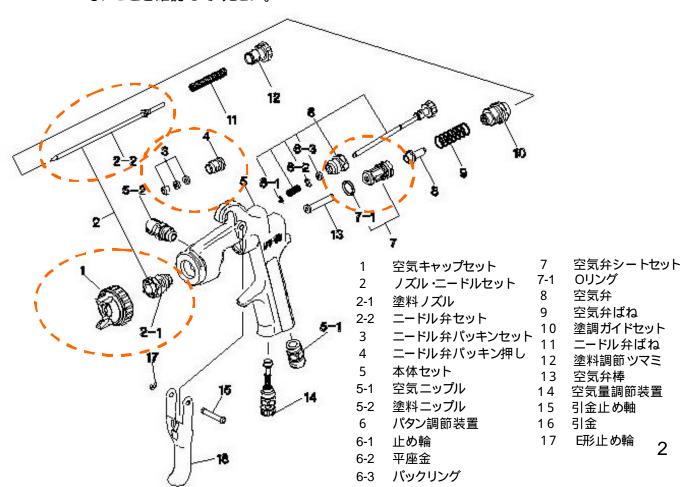
空気キャップセットおよび塗料ノズルの各穴の通路 (交換基準) 交換部品 No.1空気キャップセット No.2-1塗料ノズル つぶれ、変形がある場合は交換

パッキン、Oリング類

(交換基準) 交換部品 <u>No.3ニードル 弁パッキンセット</u> No.7空気弁シートセット 変形、摩耗の場合交換

塗料ノズル、ニードル弁セット間のシート漏れ

(交換基準) 交換部品 No.2 ノズル・ニードル 弁セット 塗料 ノズル、ニードル 弁セットの洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換。 塗料 ノズル単品、ニードル 弁セット単品で交換する場合は摺り合わせを実施し漏れがないことを確認してください。



久プレーガンメンテナンスの仕方》

3.洗浄の仕方

3-1 :作業終了後の洗浄

残った塗料を容器に移す。



シンナーをカップに入る。



専用ブラシでカップ内を洗浄する。





ブースの前でカップ内のシンナーを 捨て吹きする。 この作業を約3回ほど繰り返し 塗料通路を洗浄する。



ガンの外面・カップの外面は シンナーを付けたウエスでふき取る。



空気キャップを外 し 専用ブラシで洗浄する。



17mmのメガネレンチにて塗料 ノズルを外 し、専用ブラシにて洗浄する。

注意 ノズル先端部は念入りにキズが つかないように洗浄すること。



ニ・ドル弁も塗料付着があれば洗浄する。





ノズル先端部を塗料付着がないか、もう一度確認する。

注意

ノズル先端部に塗料付着があるとパターン 形状等に不具合がでるので注意する。





1. 注意事項

作業終了後、空気キャップを装着 した状態で保管すること。 カップにシンナーを入れた状態で

カップにシンナーを入れた状態で保管しないにと。

使用工具
メガネレンチM17、専用ブラシ

4.部品交換の仕方

4-1:ノズル・ニードルセットの交換

空気キャップを手で外す。



塗料調節ツマミを手で外す。 塗料調節ツマミを外すと ニードル弁バネも付いてくる。



ニードル 弁バネとニードル 弁を手で後方に引き抜く

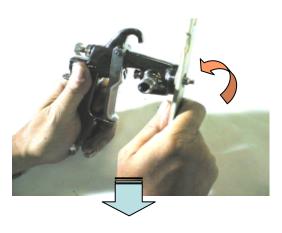
(この時引金を引くと、ニードル弁の後端が出てきて、抜きやすくなる。)。





塗料 ノズルを 17mmの メガネレンチ にて外す。

注意 専用スパナ等で塗料ノズルを 傷付けないよう注意すること。



塗料ノズルをスパナで弛めた後は手で塗料ノズルを外す。

